

## 【歯科医師】

### 1. 現状と課題について

- 県内の歯科医師数は、地域的な偏在がみられ、また、歯科医師の高齢化が進んでいる地域もある。
- 多様化する患者のニーズに応えるため、歯科医師の資質向上を図るとともに、要介護者や心身障害児・者の歯科医療を確保する必要がある。

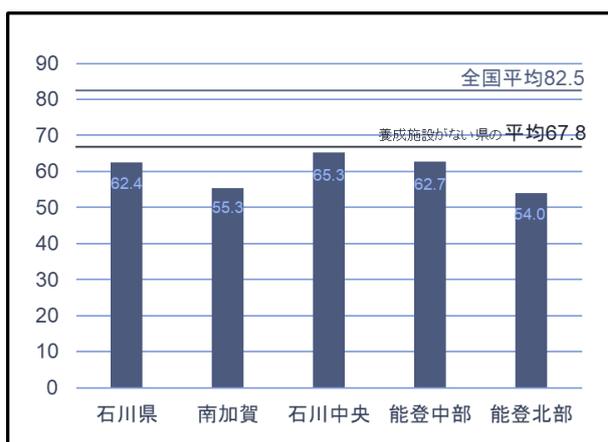
#### (1) 歯科医師数

○令和2年12月末現在の県内の医療機関に従事する歯科医師数は707人であり、人口10万対では62.4人と全国平均の82.5人を下回っているものの、本県と同様に歯科医師の養成施設がない府県の平均67.8人に近い水準である。

○人口10万対の歯科医師数を圏域別にみると、南加賀が55.3人、石川中央が65.3人、能登中部が62.7人、能登北部が54.0人と地域的な偏在がみられる。また、県内には13地区の無歯科医地区があり、こうした地区の歯科医師の確保が必要である。

○65歳以上の歯科医師の割合を圏域別にみると、能登中部と能登北部において、歯科医師の高齢化が進んでいる。

図1 医療圏別の人口10万対の歯科医師数



令和2年医師・歯科医師・薬剤師統計

図2 65歳以上の歯科医師の割合

医療圏	歯科医師数(人)	うち65歳以上(人)	65歳以上の割合(%)
石川県	652	163	25.0
南加賀	115	24	20.9
石川中央	438	97	22.1
能登中部	68	31	45.6
能登北部	31	11	35.5

令和2年医師・歯科医師・薬剤師統計(県集計)

※「医師・歯科医師・薬剤師統計」のうち、県の二次利用に同意した者のデータの集計であり、P403の表1～3の数値と一致しない。

## (2) 歯科医師の資質向上

- 近年の多様化するニーズに伴い、かかりつけ歯科医は、歯科訪問診療や障害児・者への対応、患者の基礎疾患や服用薬剤についての一層の理解が求められるとともに、乳幼児期の健全な歯列育成、口腔機能の獲得や口腔衛生指導から、高齢期における口腔機能の維持・向上や介護予防、周術期における口腔の管理まで、ライフステージに応じた歯科疾患の予防や口腔の管理など多岐にわたる対応が求められている。(再掲)
- 要介護者や心身障害児・者の歯科医療を確保するため、歯科医師に対し要介護者や心身障害児・者の歯科医療に関する知識や技術の普及を図る必要がある。
- 大学卒業後の臨床研修については、現在、県内には歯科の単独型臨床研修施設として2施設、病院と診療所での研修を行う協力型臨床研修施設として1施設が指定されている。
- 県歯科医師会は、歯科医師の資質向上のため、主に地域の歯科医師を対象とした研修会を開催している。
- また、医師の場合と同様、全ての歯科医療現場において、インフォームド・コンセントの定着を図る必要がある。
- 歯科診療所で対応できない患者の対応や定期的な研修の実施など、後方支援機能を担う病院歯科の体制強化に努めるとともに、病院における歯科医師の役割や業務を明確にし、病院における歯科医療の向上に資する取組を推進する必要がある。

## 2. 確保の方針

### 【目的（目指す方向）】

- 県民の歯と口腔機能の維持・向上

### 【目標】

- 歯科医師に係る関係機関との連携
- 歯科医師の資質向上

### (1) 歯科医師の地域偏在等に係る関係機関との協議

- 歯科医師の地域偏在や高齢化に対応するため、県、市町、歯科医師会、地域の病院及び大学病院等の関係団体が課題を共有し、協議を行う。

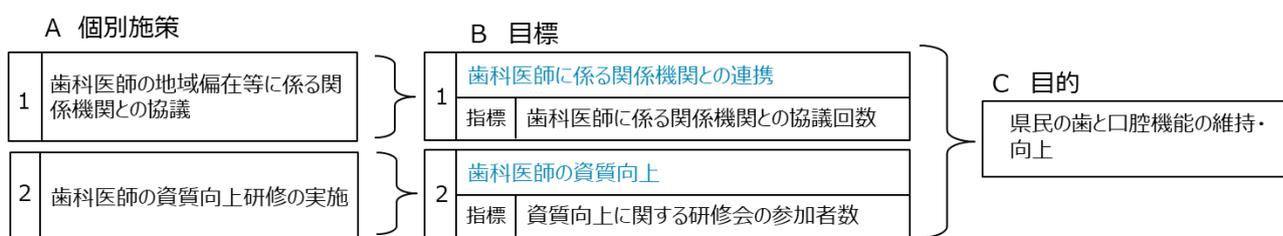
○今後の協議においては、能登半島地震後の歯科保健医療に対するニーズの見通し等を踏まえ、歯科医師の確保について検討する。

## (2) 歯科医師の資質向上研修の実施

○県歯科医師会は、多様化する患者のニーズやライフステージに応じた歯科疾患の予防、口腔管理など多岐にわたる対応が求められているかかりつけ歯科医などの地域の歯科医師を支援するため、最新の知見や適切な口腔ケア等の技術に関する研修を実施し、歯科医師の資質の向上を図る。(再掲)

○要介護者や心身障害児・者の歯科医療を充実するため、在宅歯科治療の技法や要介護者の歯科的特性に関する研修を実施する。

### 施策・指標マップ



### 数値目標

分類	指 標		現状値	目 標 値	
	名 称	出典・説明		R8 年度 (中間年)	R11 年度 (最終年)
B	歯科医師に係る関係機関との協議回数	医療対策課調べ	—	増加	増加
B	資質向上に関する研修会参加者数	医療対策課調べ	1,428 人 (R4)	増加	増加

表1 歯科医師数の年次推移

区分 年次	実数 (人)				
	総数	南加賀	石川中央	能登中部	能登北部
平成28年	696	116	466	77	37
平成30年	710	116	478	79	37
令和2年	739	127	500	77	35

区分 年次	人口10万対					全国 (人口10万対)
	総数	南加賀	石川中央	能登中部	能登北部	
平成28年	60.5	50.7	63.9	60.9	55.5	82.4
平成30年	62.1	51.0	65.5	64.5	58.4	83.0
令和2年	65.3	56.7	68.6	65.3	57.3	85.2

資料：「医師・歯科医師・薬剤師統計」（厚生労働省）

表2 従事する施設別歯科医師数（令和2年）

区分 従事する施設	実数 (人)	構成割合 (%)
医療施設従事者	707	95.7
歯科診療所開設者	448	60.6
勤務者	259	35.1
その他	32	4.3
計	739	100.0

資料：「医師・歯科医師・薬剤師統計」（厚生労働省）

表3 年齢階級別歯科医師数の年次推移

区分 年次	実数 (人)						
	総数	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
平成28年	696	23	115	167	168	160	63
平成30年	710	17	109	164	172	157	91
令和2年	739	20	102	168	166	168	115

資料：「医師・歯科医師・薬剤師統計」（厚生労働省）